

夕張市石炭博物館 模擬坑道火災の概況について

- 1 火災発生日 平成 31 年 4 月 18 日 (木)
- 2 出火場所 北海道夕張市高松 7 番地 夕張市石炭博物館 模擬坑道内
- 3 焼損状況 模擬坑道内全長約 198mの内部が焼損



出火時の状況



模擬坑道入口の状況



延焼中の状況

4 消火活動隊

《国土交通省》

北海道開発局・TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）

《北海道広域消防相互応援協定による応援隊》

札幌市消防局 小樽市消防本部 岩見沢地区消防事務組合消防本部

北広島市消防本部 江別市消防本部 美唄市消防本部 三笠市消防本部

南空知消防組合消防本部 滝川地区広域消防事務組合消防本部

北後志消防組合消防本部 岩内・寿都地方消防組合消防本部

羊蹄山ろく消防組合消防本部 恵庭市消防本部 千歳市消防本部

石狩北部地区消防事務組合消防本部 深川地区消防組合消防本部

歌志内市消防本部 砂川地区広域消防組合消防本部 苫小牧市消防本部



排水ポンプ車の送水
北海道開発局



消火活動
札幌市消防局



消防ポンプ車の揚水
羊蹄山ろく消防組合



特別消防隊ポンプ車
札幌市消防局



坑口のガス測定
小樽市消防本部



水質調査
滝川地区広域消防(事)

《夕張市》

夕張市消防本部

夕張市消防団

(中央末広分団 若鹿分団 富野分団 清水沢分団 沼の沢分団)



夜間の消火活動

夕張市消防本部



消火活動（坑道入口）

夕張市消防本部



24時間の注水作業

夕張市消防本部



夜間の消火活動

夕張市消防団



応援隊への炊き出し

夕張市消防団女性分団



当時の夕張鉱業所

昭和34年4月

5 活動状況

【4月18日】（夕張市消防署・夕張市消防団）

出動車両：指揮車 水槽付ポンプ自動車 大型水槽車 消防団車両5台

【4月19日】

北海道広域消防相互応援協定による応援隊を要請

北海道開発局に模擬坑道内への注水活動の支援要請

【4月20日】

消防ポンプ自動車等7台及びTEC-FORCEの排水ポンプ車1台による
模擬坑道内への注水

9時現在、坑道から出ている白煙は水蒸気です。

ほぼ坑道内は満水の状態ですが、注水活動は継続して行っています。

現地での状況報告（夕張市消防本部 消防長 増井佳紀）

「朝方、ほぼ坑道内は満水になりました。見てのとおり上がっていた水蒸気もなくなりましたが、石炭の冷却のために今後も注水活動は行います。

鎮圧、鎮火の発表ですが、現在の状況を関係機関と慎重に協議し、判断したいと考えています。」

【4月27日】

第1回有識者会議を開催、現地視察を行い、意見交換会を実施しました。

有識者記者会見（室蘭工業大学大学院工学研究科 板倉賢一教授）

「データだけを見ると鎮火にに向かっていていると思う。炭層から一酸化炭素、メタン、石炭由来のガスが出てくすぶっている状態で、これらを観測しながら引き続き注水することが必要」

厚谷司夕張市長記者会見

「現在毎分5トンの注水量を増やして冷却を急ぐほか、24時間体制でガス濃度を測定します。ガスの量が下がるという安全性が確認できた段階で、被害がなかった博物館本館だけでも開館できないか協議します。」

【5月3日】

5月1日以降、全ての坑口から一酸化炭素などのガスが検知されないため、5月3日から送水を停止しました。

今後は2時間おきのガス測定とあわせて、坑内の水位を計測します。

【5月8日】

5月3日の送水停止後、ガスが検知されないことから、5月8日をもって、北海道広域消防相互応援協定による応援隊を解散しました。

今後は夕張隊が警戒及びガス測定等24時間対応します。

【5月13日】

第2回有識者会議が現地視察後に開催し、火災現場の状況及びガス測定数値等を詳細に検討した結果、5月13日16:10をもって「鎮火」と判断しました。

6 ボランティア

この度の模擬坑道火災発生後から、消火活動に従事している消防隊に対し、個人、団体の皆様から炊き出しを開催していただき、誠にありがとうございました。

火災現場での炊き出しは、昼夜問わず活動している消防隊への大きな支えとなりました。

本火災は各方面のご支援のもと、5月13日に鎮火発表となりましたが、今後とも変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

夕張市消防長 増井 佳紀



炊き出しボランティア
市民有志の皆様



坑道入口の土嚢積み
三建工業



災害協定の燃料供給
夕張エネックス組合